



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 三愛オブリ株式会社  
 コード番号 8097 URL <https://www.san-ai-obbli.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚原 由紀夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 野中 英一

TEL 03-6880-3100

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	478,279	11.7	10,090	23.7	10,804	19.9	7,416	36.4
2022年3月期第3四半期	428,310	28.3	8,154	29.2	9,010	23.4	5,438	7.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 8,143百万円 (73.0%) 2022年3月期第3四半期 4,706百万円 (25.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	108.49	
2022年3月期第3四半期	78.93	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	214,031	115,344	51.3
2022年3月期	197,887	112,358	54.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 109,893百万円 2022年3月期 107,173百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		14.00		26.00	40.00
2023年3月期		19.00			
2023年3月期(予想)				27.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 23円00銭 記念配当 3円00銭

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	635,000	6.1	14,000	16.0	14,500	10.5	10,000	20.4	146.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	71,000,000 株	2022年3月期	71,000,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,803,153 株	2022年3月期	2,266,623 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	68,362,374 株	2022年3月期3Q	68,902,480 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻くエネルギー業界においては、人流が回復してきたことにより、航空燃料を中心として石油製品の需要に一定の回復がみられ、さらに今後は入国規制の緩和によるインバウンド需要が期待される。

こうしたなか、当社グループは、中期経営計画「変貌する未来への挑戦 Challenge 2030」に基づき、サステナビリティ経営の推進や新規事業の開発のための組織を立ち上げるとともに、人材育成を強化するなど、変革を生む挑戦的な組織風土の醸成に努めた。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、石油製品の販売価格の上昇により前年同期比11.7%増の4,782億79百万円となった。営業利益は、航空関連事業の業績が新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みから回復基調で推移したことにより前年同期比23.7%増の100億90百万円、経常利益は前年同期比19.9%増の108億4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比36.4%増の74億16百万円となった。

セグメントの業績は次のとおりである。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分の見直しにより、「航空関連事業他」を「航空関連事業」および「その他事業」に区分しており、前年同期との比較は変更後の報告セグメントに組み替えて表示している。

石油関連事業における売上高は、販売価格の上昇により前年同期比9.7%増の4,115億2百万円となった。セグメント利益は前年同期比0.5%増の69億4百万円となった。

化学品関連事業における売上高は、石油系溶剤の販売価格の上昇により前年同期比19.9%増の92億36百万円となった。セグメント利益は、金属加工油用途等への防腐・防かび剤販売が低調であったことなどにより前年同期比5.0%減の9億15百万円となった。

ガス関連事業における売上高は、販売価格の上昇により前年同期比24.6%増の430億51百万円となった。セグメント利益は、LPガス小売営業権買収や設備投資に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより前年同期比19.7%減の9億71百万円となった。

航空関連事業における売上高は、羽田空港の燃料取扱数量が国内線においてコロナ禍前の水準にまで回復しており、また、国際線においても一定の回復が見られたことから前年同期比48.3%増の97億1百万円となり、セグメント利益は23億60百万円(前年同期は7百万円のセグメント利益)となった。

その他事業における売上高は、金属製品等の洗浄・表面処理業が好調に推移したことにより前年同期比6.1%増の47億87百万円となり、セグメント利益は前年同期比29.7%増の9億72百万円となった。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ161億43百万円増加し、2,140億31百万円となった。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものである。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ131億56百万円増加し、986億86百万円となった。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものである。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億86百万円増加し、1,153億44百万円となった。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものである。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.2%から51.3%となった。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績および今後の見通しを勘案し、2022年5月12日に公表した2023年3月期通期の連結業績予想および配当予想を修正しております。修正の内容等については、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,267	51,285
受取手形、売掛金及び契約資産	45,801	48,414
有価証券	100	—
商品及び製品	7,387	7,929
仕掛品	55	108
原材料及び貯蔵品	176	146
その他	2,366	2,088
貸倒引当金	△477	△484
流動資産合計	93,677	109,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	69,654	70,190
減価償却累計額	△48,314	△49,855
建物及び構築物 (純額)	21,340	20,335
機械装置及び運搬具	34,164	34,782
減価償却累計額	△27,010	△27,943
機械装置及び運搬具 (純額)	7,153	6,839
土地	18,870	18,818
その他	9,037	10,460
減価償却累計額	△4,650	△5,089
その他 (純額)	4,386	5,371
有形固定資産合計	51,751	51,364
無形固定資産		
のれん	1,374	1,799
顧客関連資産	1,182	1,115
その他	2,317	3,070
無形固定資産合計	4,874	5,985
投資その他の資産		
投資有価証券	17,167	16,818
退職給付に係る資産	3,930	3,856
差入保証金	25,278	25,490
その他	1,303	1,123
貸倒引当金	△95	△95
投資その他の資産合計	47,584	47,192
固定資産合計	104,210	104,543
資産合計	197,887	214,031

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,615	59,441
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	827	2,391
未払法人税等	2,500	1,316
賞与引当金	1,701	897
役員賞与引当金	76	62
完成工事補償引当金	0	0
その他	13,040	16,778
流動負債合計	66,062	81,188
固定負債		
長期借入金	4,462	2,225
役員退職慰労引当金	178	200
特別修繕引当金	196	219
退職給付に係る負債	211	116
資産除去債務	606	608
その他	13,812	14,127
固定負債合計	19,467	17,498
負債合計	85,529	98,686
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,127	10,127
資本剰余金	4,339	4,336
利益剰余金	91,563	95,897
自己株式	△2,651	△4,505
株主資本合計	103,378	105,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,853	4,154
土地再評価差額金	△376	△381
退職給付に係る調整累計額	318	264
その他の包括利益累計額合計	3,795	4,037
非支配株主持分	5,184	5,451
純資産合計	112,358	115,344
負債純資産合計	197,887	214,031

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高		
商品売上高	425,776	475,911
完成工事高	2,534	2,368
売上高合計	428,310	478,279
売上原価		
商品売上原価	387,994	434,038
完成工事原価	2,251	2,047
売上原価合計	390,245	436,085
売上総利益	38,065	42,194
販売費及び一般管理費	29,910	32,103
営業利益	8,154	10,090
営業外収益		
受取利息	188	199
受取配当金	392	409
軽油引取税交付金	129	133
貸倒引当金戻入額	3	—
その他	382	234
営業外収益合計	1,096	977
営業外費用		
支払利息	195	197
その他	45	65
営業外費用合計	240	263
経常利益	9,010	10,804
特別利益		
固定資産売却益	19	106
投資有価証券売却益	21	535
特別利益合計	40	642
特別損失		
固定資産除売却損	169	46
投資有価証券売却損	—	4
減損損失	1	0
投資有価証券評価損	12	—
関係会社株式売却損	10	—
特別損失合計	194	52
税金等調整前四半期純利益	8,857	11,394
法人税、住民税及び事業税	2,575	3,156
法人税等調整額	413	361
法人税等合計	2,989	3,518
四半期純利益	5,868	7,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	429	460
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,438	7,416

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,868	7,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,059	320
退職給付に係る調整額	△102	△53
その他の包括利益合計	△1,161	266
四半期包括利益	4,706	8,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,251	7,663
非支配株主に係る四半期包括利益	455	479

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,548,900株の取得を行った。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,854百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が4,505百万円となっている。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当第3四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響について、会計上の見積りおよび当該見積りに用いた仮定は、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はない。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	石油関連 事業	化学品関 連事業	ガス関連 事業	航空関連 事業	その他 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	375,002	7,703	34,553	6,540	4,510	428,310	—	428,310
セグメント間の内部売上高 または振替高	1,242	162	24	0	555	1,985	△1,985	—
計	376,245	7,866	34,577	6,540	5,066	430,296	△1,985	428,310
セグメント利益	6,871	963	1,211	7	749	9,803	△792	9,010

(注) 1. セグメント利益の調整額△792百万円には、セグメント間取引消去71百万円および各報告セグメントに配分していない全社利益△864百万円が含まれている。全社利益は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	石油関連 事業	化学品関 連事業	ガス関連 事業	航空関連 事業	その他 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	411,502	9,236	43,051	9,701	4,787	478,279	—	478,279
セグメント間の内部売上高 または振替高	1,551	273	42	—	571	2,438	△2,438	—
計	413,053	9,510	43,093	9,701	5,358	480,718	△2,438	478,279
セグメント利益	6,904	915	971	2,360	972	12,123	△1,318	10,804

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,318百万円には、セグメント間取引消去58百万円および各報告セグメントに配分していない全社利益△1,377百万円が含まれている。全社利益は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業の区分)

当社グループは、2021年8月に中期経営計画にて事業戦略を公表し、第1四半期連結会計期間の期首に航空関連事業を独立した部所として設置した。それに伴い、第1四半期連結会計期間より、「航空関連事業他」を「航空関連事業」および「その他事業」に区分している。

「航空関連事業」は、航空機の燃料の保管・給油を行っており、「その他事業」は金属表面処理、建物付帯設備の請負工事および不動産賃貸他を行っている。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示している。

(重要な後発事象)

当社は、2023年2月14日開催の取締役会において、会社法第178条の定めに基づき、自己株式を消却することを決議した。

- |             |            |
|-------------|------------|
| ① 消却する株式の種類 | 当社普通株式     |
| ② 消却する株式の数  | 3,000,000株 |
| ③ 消却予定日     | 2023年2月28日 |